

「スマートフォン安心安全強化戦略」(案)の意見公募の結果 概要

利用者視点を踏まえた ICT サービスに係る諸問題に関する研究会(諸問題研。「スマートフォン時代における安心・安全な利用環境の在り方に関するWG」において検討)において、「スマートフォン安心安全強化戦略」(案)が取りまとめられた。平成25年7月4日から8月2日までの間、意見公募を行ったところ、25者(個人8者、法人・団体17者)から意見があった。

提出意見の件数は、以下のとおり。

第Ⅰ部：スマートフォンにおける利用者情報に関する課題への対応	への意見	39件
第Ⅱ部：スマートフォンサービス等の適正な提供の在り方	への意見	46件
第Ⅲ部：スマートフォンのアプリ利用における新たな課題への対応	への意見	13件
その他の意見		3件

また、主な意見の概要は、以下のとおり。

(1) スマートフォンにおける利用者情報に関する課題への対応
(スマートフォン プライバシー イニシアティブⅡ)

① **提言案に賛同的な意見**

- ・ 官民一体となった周知・啓発を行い、利用者側のリテラシー向上に向けた取組を推進していくことが必要

② **アプリケーションの利用者情報の取扱いに係るルールをより強化すべきとの意見**

- ・ プライバシーポリシーの統一的な表示等が必要
- ・ 第三者検証について、検証に統一的な基準が必要
- ・ 情報収集モジュールの有無については、統一したマーク等により一目瞭然に分かる方法を検討すべき
- ・ プライバシー保護は事業者のニーズとは相反することがあると考えられるため、実効性担保のための法的な規制も併せて検討すべき
- ・ 法による設置根拠に基づいた適切な第三者検証が必要

③ **プライバシーポリシーの様式や第三者検証の手法等については柔軟・慎重に対応すべきとの意見**

- ・ プライバシーポリシーの様式の共通化には、柔軟性が必要
- ・ 第三者検証の手法等については、柔軟な取扱いを認めるべき
- ・ 第三者検証を行っている者やアプリケーション、情報収集モジュール等のリスト化の取扱いについて慎重を期すべき

(2) スマートフォンサービス等の適正な提供の在り方
(CS適正化イニシアティブ)

① **通信エリア・通信速度の表示に関する意見**

- ・ 通信エリア、通信速度及び通信品質の「見える化」の実施が必要
- ・ 実効速度及び通信品質の測定基準や方法等については公正かつ透明性のある枠組み作りが必要。今後の検討にあたっては、通信事業者を含めた多くの関係者による公平かつ実行性のある十分な議論が必要

② **代理店連絡会の在り方に関する意見**

- ・ 大手代理店や電気通信事業者を含めた業界関係者が自主的に参加する代理店連絡会等において、実現可能性のある議論を行うことが必要

③ **業界コールセンターに関する意見**

- ・ 改めて、設置の目的・役割、得られる効果等について議論していくことが必要。また、顧客情報管理等の個人情報への取扱い、コールセンター間でのたらい回しのリスク等の運用上の課題も検討が必要

④ **PIO-NETに関する意見**

- ・ PIO-NET のデータについて、カウント方法等の登録・運用ルールや相談内容の事業者等に対する詳細開示が必要であり、総務省より、国民生活センター等に働きかけを実施することを要望

⑤ **制度的な対応の検討に賛同する意見**

- ・ クーリングオフ等の特定商取引法と同等の消費者保護規定の導入すべき

⑥ **制度的な対応の検討に慎重な意見**

- ・ 過度なルールが利用者利便を却って損なうことにならないか、十分な配慮が必要
- ・ 多くの関係者による公平かつ実行性のある十分な議論が必要
- ・ ケーブルテレビ業界は引き続き自主基準の継続実施を希望

(3) スマートフォンのアプリ利用における新たな課題への対応
(スマート ユース イニシアティブ)

① **フィルタリングの推進に賛同する意見**

- ・ 第三者認定を受けていないサービスは早期の認定を受けるべき

② **リテラシー向上の取組に賛同する意見**

- ・ スマートフォン環境下においては様々な関係者が一体となって取り組むべき

③ **ソーシャルメディアガイドラインの普及促進に賛同する意見**

- ・ ソーシャルメディアガイドラインの普及促進には、学校等の関係諸機関との連携が必要

以上